

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 宮寺庸造 副委員長 鷹岡 亮

幹事 森本容介・中山祐貴 幹事補佐 倉山めぐみ・岡本 勝

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

[https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e\\_gihou.html](https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html)

日時 1月26日(土) 10:00~17:00

会場 関西大学梅田キャンパス8階ホール(大阪市北区鶴野町1-5。阪急梅田駅、茶屋町側から徒歩5分。JR大阪駅から徒歩10分。 <https://www.kansaiu.ac.jp/umeda/access/> TEL [06] 6368-1111 小尻智子)

議題 身体知・スキル教育／一般

1. 参加型・双方向授業モジュールへのエージェントキャラクター機能実装の試み 飯高敏和(熊本学園大)
2. 講師-受講生間コミュニケーションにおける2種マイクを用いた発話対象切替手法の検証  
○北岸佑樹・田中友樹・米澤朋子(関西大)
3. WebSec: セキュリティ研修のためのゲーム演習ツールの提案と評価  
○近江谷 且(奈良先端大)・バルナ バラシュ(ブダペシュト・コルヴィヌス大)・門林雄基(奈良先端大)
4. Testability に基づくプログラム設計学習支援システムの構築と教育実践  
○伊原大貴・野口靖浩・小暮 悟(静岡大)・山下浩一(常葉大)・小西達裕・伊東幸宏(静岡大)

午後

5. [IEEE 技術講演] “あたらしい「触覚学」の創成” 鈴木泰博(名大)
6. 身体活動と知識活動—スキルは訓練か、学習か— 渡邊豊英(名古屋産業科学研)
7. 道徳的読解における読み手の信念とヒューリスティックの効果—情報機器利用や情報モラルに関する場面設定の影響—  
○沖林洋平・藤永啓吾・久保田高嶺・松岡敬興(山口大)
8. 保育者養成校における ICT 教育活用実践技能教育—2020年の先を見た取り組み— 神谷勇毅(鈴鹿大短大部)
9. 面接授業「初歩からのパソコン」のリテンション分析  
○柳沼良知・高橋秀明・秋光淳生・仁科エミ・三輪眞木子(放送大)
10. 読書行動と設問解答行動から見た評価—時間と注視から見た評価—  
○青木恭太・原田浩司(宇都宮大)・村山慎二郎(筑波大)・福田宣男(鹿沼市北小)
11. 集中前後における児童の読書時の視線の考察 第2報—読書時視線計測プログラムによる測定の結果—  
○村山慎二郎(筑波大附属視覚特別支援学校)・原田浩司(宇都宮大)

◆関西大学システム理工学部電気電子情報工学科共催。IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月15日(金) 鳴門教大[1月12日(土)] テーマ: IoT と教育・学習支援／一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

森本容介(放送大)

E-mail: morimoto@ouj.ac.jp

◎第1著者として、1回の研究会で1件まで発表できます。

◎原稿締め切り日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めておりませんので御注意下さい。

◎原稿は、4ページ、または6ページで作成して下さい。

◎本研究会の取り組みについては、ET 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/iss/et/>) も御覧下さい。